

## 令和5年10月7日開催 がん医療に関する市民公開講座の主なアンケート結果と回答

※アンケートにご協力いただきありがとうございます。次回開催の参考とさせていただきます。多くの感想やご質問頂きましたが、代表的な感想及び質問を掲載しておりますのでご了承ください。

	講演への感想・質問等	回答
1	最近紹介状が無いと来れないと聞きますが、説明の時来て下さいという事ですが、直接診て頂けるという事なのですか？	・当院は、「紹介受診重点医療機関」に指定されており、地域の中で「かかりつけ医」から紹介を受けて、高度な医療機器や投資を必要とする専門的な診療を行う役割を担っております。そのため、受診の際には紹介状の持参をお願いしております。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。（詳しくは、こちらのURLをご確認ください。 <a href="https://miechuo.hosp.go.jp/pdf/news/news_renkisuisin.pdf">https://miechuo.hosp.go.jp/pdf/news/news_renkisuisin.pdf</a> )
2	ピロリ菌の除菌は、1回すれば良いですか？	1回目でうまくいかない場合は、公的医療保険では2回目まで除菌治療は可能です。除菌成功が確認できれば、再感染する確率は約1%前後と言われ、除菌治療を何度も行う必要はありません。ただし、除菌判定が除菌終了直後に行われた場合は、実際は除菌されていないのに、検査で陰性反応がでてしまう「偽陰性」となる場合があります。この場合は、除菌されたと思っても、胃にピロリ菌が残っている場合があり、再度検査をした場合に陽性となることがあります
3	肺がん1期で手術を受け、約4年になります。5年生存率が気になって来ました。貴院での生存率を教えてください。	1期肺癌ですが、1A期と1B期に分かれます。1A期は3cm以下の肺癌でリンパ節転移のないもの、1B期は3-4cmもしくは胸膜弾性板を越えての浸潤のあるものになります。 当院での成績は両病期とも90%を超える成績になっています。 これは1A期の中でも小型の病変が多かった可能性や1B期は全体の患者様の数が少なかった可能性があります。 それらを差し引いても全国的な水準の治療となっていると思われます。 5年生存率を心配されるのはよくわかりますので不安がありましたら外来にて気兼ねなくご質問下さい。
4	3番目の胃がん検診について。ESDでがんを取り除いた後の処置はどうするのでしょうか？	ESDでがんを取り除いた後は、定期的な胃カメラ検査が必要です。傷の治りを確認するために2ヶ月後に胃カメラを行います。その後は1年に1回胃カメラを行い、他の部位に胃がんができていないかどうかを検査します。
5	ピロリ菌検査は1回したら2回目は受けなくても良いですか？	ピロリ菌の感染時期は小児期が多く、大人になってからの感染は少ないと言われていています。一度陰性と確認できれば、繰り返し検査を行う必要はありません。ただし、ピロリ菌を検査する方法はたくさんあり、それぞれの検査の精度(感度、特異度)が異なりますので、どの検査を受けるかは、担当の医師に相談してください。
6	肺がんは進行が早いと聞きました。早期発見といわれても偽陰性だと見落とされるのか？	肺がん検診は、胸部レントゲンを施行します。ご指摘のように、肺がんが骨や心臓に重なる場所にあると、偽陰性になる可能性があります。一方、がん検診は、偽陰性を含めた不利益よりも、死亡率減少効果という利益が上回ることににより成り立っています。 偽陰性の可能性はありますが、肺がん検診を受けることで、早期発見・早期治療につながる方が多いと考えています。もちろん、偽陰性になることを少しでも減らすため、私たちは胸部レントゲンの読影について、さらなる研鑽を積んでいきます。」 どうかよろしく願いいたします。
7	HPVのワクチンの有効期間が未確定とすると接種の必要性はあるのか？	市民公開講座では、HPVワクチンの有効期間は未確定だということは HPVワクチン導入後間もないことから、がんそのものを予防する効果は現段階ではまだ証明されていません。しかし、HPV感染と子宮頸部異形成を予防する効果は確認されました（市民公開講座にて提示）。現在、HPVワクチン接種後有効期間、一定の期間持続することを示唆する研究が報告されています。今まで確認されている持続期間は、サーバリックスは1回目接種後最長9.4年間までの持続が確認されました。ガーダシルは初回接種後少なくとも6年間の持続が確認されています。ワクチン接種による抗体価はワクチン接種後2年程度までは低下していくものの、その後はほぼ一定の値を保って推移しています。ほぼ一定となった抗体価は自然感染後の抗体価を大きく上回る値を示しています。上記でHPVワクチン接種が必要であるし、将来子宮頸がんの減少効果を期待しております。
8	高齢者のがんの進行は早いと聞くが本当か？	がんの進行は癌腫の違いや癌の分化度などで、発育速度が変わりますが、基本的に年齢によって変わるものではありません。ただ若年者に多いスキルス胃癌は進行が早く予後が悪いと言われていています。
9	大腸がん検診とは、便潜血検査の事か？	市区町村で実施しているのは、「便潜血検査」です。2日間にわたって便を採取し、血液の成分が混じっていないかを調べます。「要精密検査」となった場合は、一般的に大腸カメラが行われます。
10	大腸がんについて。便潜血検査（年1回）で「異常なし」の結果が出ていれば10%大腸がんの可能性は無いと判断して良いのですか？	便潜血検査の陽性率は約5-7%、陽性反応がでた方に大腸がんが発見される確率はその中で2-3%程度と言われていています。便潜血陰性であれば、進行大腸がんがある確率は低いと思われませんが、進行大腸がんでも10-30%は便潜血検査で陰性となり、ポリープではあまり陽性にはならないと報告されています。つまり、大腸がん検診で陰性であっても、大腸がんがないという証明にはなりません。

## 令和5年10月7日開催 がん医療に関する市民公開講座の主なアンケート結果と回答

※アンケートにご協力いただきありがとうございました。次回開催の参考とさせていただきます。多くの感想やご質問頂きましたが、代表的な感想及び質問を掲載しておりますのでご了承ください。

	講演への感想・質問等	回答
11	日本の子宮頸がんの発症が増加し続けている原因は何なのでしょう？	性交渉開始の低年齢化、性交渉のパートナーが多いこと、HPVワクチン接種率が低いことなどで子宮頸がん発症が増加する原因です。さらに、子宮がん検診の受診意識が薄く、受診率が低いので、前がん病変の段階に診断率が低いのも一つ原因だと思われます。
12	ピロリ菌を調べる方法・費用が知りたい。（自費ですか？）	ピロリ菌の検査方法はいくつかあります。胃カメラで直接胃の組織を採取したり、患者さんの呼気を採取したり、その他に血液、便、尿を採取して調べたりすることができます。 胃カメラで胃炎や胃潰瘍と診断された方は、公的医療保険が使用できます。胃カメラをせずに、ピロリ菌に感染しているかどうかを調べたい方は、全額自己負担となります。その場合は、検査のみであれば1万円前後となります。
13	各々病院・医師によるが、患者と医師の関わりとして患者自身が治療にあたって、どれ程前向きになれるのか等、担当医含めて「サポート」のあり方の研究も必要ではないのでしょうか？	当院でもがん患者さんを含めた家族の方が1人で悩みを抱え込んだりしないように、担当医はもちろん、がん緩和療法専門看護師、化学療法専門看護師、がん相談支援センター、薬剤師、MSWなど様々な職種でサポート体制を整えています。治療の相談などあれば、まずはがん相談支援センターへお声かけ下さい。
14	一つの病院に対する診断・治療含め「カンファレンス」と言うか複数の医師による診断がなされているのでしょうか？	当院は1人の医師の判断で治療方針が決定されるのではなく、各科カンファレンスが開催され、治療方針を決定しています。画像などの読影でも、放射線読影医と依頼医師が結果を確認するようにシステム化されています。
15	今回の講座開設にあたり、開催側としての目的は？私が期待したのは、原因・治療・統計のみでなく原因を踏まえ「予防・発症」に対する現状の研究状況は困難なのか、という期待を持って参加しました。	今回は子宮がん、肺がん、大腸がん、胃がんの健診をテーマにし、それぞれ専門の先生方に講演していただきました。今後、機会ありましたら、予防・発症などのテーマでの講演について考慮させていただきます。またご参加宜しく願い申し上げます。
16	大腸検査による下剤を当日院内にて摂取できる部屋の設置を望みます。	現在、当院建物のスペース上等の理由で、大腸検査の下剤を摂取できる部屋の設置は困難な状況です。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。
17	「ガン」にならない細胞づくりの研究状況などを知りたかった。	基本的には、適度な運動、規則正しい食生活、禁煙、過度の飲酒を避ける、肥満にならないよう体重管理などがん予防に重要な要素とされています。2人に1人が一生涯にがんに罹患すると言われており、遺伝的要因もあるので、がんを完全に避けるのは困難と思われます。上記の生活を心掛けて頂き、検診にて早期発見を心掛けることが重要です。
18	薬の副作用、検査が怖くて受ける気持ちになれません。良い方法はないのでしょうか？	薬の説明や検査の説明で不明な点や心配な点があれば、がん相談支援センターまでご相談下さい。
19	病院日より毎回楽しみにしています。以前も認知症のセミナーにも参加しました。とても役立ちます。アルスプラザでも講演して欲しいです。講演の内容も一部広報誌に載せては？	来年度の開催は、津市久居アルスプラザでの開催を予定しております。来年度も是非参加していただければと思います。病院日より、紙面の都合上、開催報告のみの掲載とさせていただきますのでご理解のほどよろしく願いいたします。
20	子宮がんの先生の話が聞き取りにくいと私は思った。マイクのせいかしら。大腸がんの先生の話も聞き取りにくい。ずっと続けているから間が無いように思います。これは私を感じたことです。疲れるな。	日程の関係で昨年に引き続き学校体育館での開催となり、イベントホールとは異なり、参加いただいた皆様にはご不便をおかけして申し訳ございません。来年度の開催は、津市久居アルスプラザでの開催を予定しております。来年度も是非参加していただければと思います。
21	筆記する下敷があると記載しやすい。椅子が固かった。	下敷については、来年度開催時の検討事項とさせていただきます。日程の関係で昨年に引き続き学校体育館での開催となり、イベントホールとは異なり、参加いただいた皆様にはご不便をおかけして申し訳ございません。来年度の開催は、津市久居アルスプラザでの開催を予定しております。来年度も是非参加していただければと思います。
22	体育館構内広いでレジャー画像の印字が見にくい。レジャー画像を二分の一区割りにすると、少しは見やすいかも。日本では子宮がん検診が少ない（なぜ）事象をもう少し掘り下げると共に受診PR推移を伝えて欲しい。	ご質問ありがとうございました。日本の子宮がん検診受診率が低い原因として、一番重要なのは、受診の意識がありません。今回、市民公開講座や広告など宣伝手段を利用し、子宮がん検診の重要性を再認識して頂いて、受診意識を高めることを工夫しています。
23	子宮がん検診の所で出産年齢とがんになる年齢が重なるとか、ワクチンの事とか大切だなと思う事があったのですが、資料に入っていないで残念です。後日一部でも良いので資料をHPにアップしてもらえると嬉しいのです。	子宮頸がんの発症年齢と出産年齢が重なる、女性の一生へ影響など著作権に関わるので、申し訳ございませんが、病院HPへの掲載は困難です。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。
24	途中の休憩時間は、5分程度で良いと思います。	会場内のトイレの数等を考慮し、休憩時間を長めに設定させていただきましたので、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 令和5年10月7日開催 がん医療に関する市民公開講座の主なアンケート結果と回答

※アンケートにご協力いただきありがとうございました。次回開催の参考とさせていただきます。多くの感想やご質問頂きましたが、代表的な感想及び質問を掲載しておりますのでご了承ください。

	講演への感想・質問等	回答
25	2023年11月11日の市民講座に行けない為、同じ内容を来年以降して欲しい。胃がん検査、オベで使用する道具等が新しくなった機材が知れて良かった。子宮頸がんは説明が少し分かり辛く、資料の紙も少なかった為、その辺をもう少し知りたかった。大腸がん検査やがんの事を知れて良かった。分かり易かった。	2023年11月11日ミエチュウオウ文化祭での市民公開講座については、毎年のテーマに沿った講座を開催しております。申し訳ございませんが、現在のところ同じ内容の講座を開催する予定はございませんので何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。10月7日開催の講座内容等については、いただいたご意見を次回開催の参考にさせていただきます。
26	少し時間が短いので、もう少し詳しく説明頂ければ良く理解できると思います。	講演時間につきましては、講演数や会場確保の時間等を考慮し決定させていただいております。いただいたご意見を次回開催の参考にさせていただきます。
30	出来れば津まつり等大きなイベントと違う日に開催して欲しい。	開催日につきましては、準備の関係上から1年前に決定させていただいております。今後は、地域の大きなイベントと同日とならないように留意いたします。
31	スクリーンのパワポ資料に比べて、配布された資料は内容が乏しすぎる。	当日の配布資料につきましては、多数の来場者の参加を考慮して、講演内容の主要な部分のみとさせていただきましたので、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。いただいたご意見を次回開催の参考とさせていただきます。
32	子宮頸がん予防。ワクチンと検診の両方が大事だと感じました。子宮体がんの説明も聞きかたかったです。	講演内容につきましては、いただいたご意見を次回講座の参考にさせていただきます。
33	今回の様な講座を今後も続けて欲しい。テーマを今の治療（先進医療）などの事も知りたい。	講演のテーマにつきましては、いただいたご意見を次回講座の参考にさせていただきます。
34	三重中央医療センターで、がん検診を受けることは可能ですか。	当院のがん健診（一次検査）は、津市からの委託にて胃がんと大腸がんのみを実施しております。その他のがん健診（一次健診）は、地域の健診センターかクリニック等にて受診していただきますようお願いいたします。